

第7第 そけいヘルニア 知って安心 合併症の内容

Dr. 村田の
HGS!
(日帰り・外科・手術)



合併症

そけいヘルニアの合併症として考えられるのは、手術中は血圧の上昇と下降、出血。手術直後では、寝不足や深酒などの影響でなかなか目が覚めない、無呼吸、出血等があります。手術前日は少量のお酒は大丈夫ですが、飲み過ぎには注意してください。徹夜も体に負担がかかります。手術中の出血に関しては、止血剤が入った局所麻酔を使用するなど予防に努めていますので、発生率は極めて低いものです。術中の呼吸についても、呼気の二酸化炭素をモニタリングしながら、麻酔を細かく調整

することで管理します。睡眠時無呼吸の患者さんにも有効です。

帰宅後の痛みの感じ方には個人差がありますが、1日～2日でかなり治まり、長くても3日程度でしょう。手術当日から1週間分の鎮痛剤と座薬を処方しますので、日常生活は殆ど心配ありません。痛みが原因で血圧が上がると内出血につながることもありますが、そのような懸念も1ヶ月以内になくなってきます。血液をサラサラにする薬を飲んでいる場合の内出血は2週間ほどで治まりますので、手術のために薬を止めることは指示しておりません。初めに詳しく説明しますので、安心して臨んでいただけます。

また、手術前のヘルニアの箇所に血液が溜まる皮下血腫は腫れと似ています。再発かと思ってしまうことがありますが、驚かなくて大丈夫です。血液のかたまりなので1ヶ月位で徐々に固くなった後、2～3ヶ月かけて自然に溶けて吸収され、完全になくなります。外来でも経過観察する程度です。長引く場合は超音波検査をしますが、これまで再発に至った症例はありません。手術は神経にさわらない高度な技術ですすめていきます。術後の生活で神経痛が発生しないようにするために、神経の温存を重視しています。

そけいヘルニア Q&A

Q 手術後の痛みを強く感じるというのは、体質ですか？

A 特にそういうことではありません。一般的に若い方や男性は敏感なので、多少強く感じることはあると思います。逆に高齢であると感じ方が弱まりますから、楽でしょう。



考えられる合併症は、小さな範囲のものがほとんどといっていいでしょう。大きい症例は何千例に一つくらいの確率なので、心配しなくて大丈夫です。シートを使うようになった現代では殆どゼロに近いのが現状です。術後の痛みには個人差がありますが、70歳以上の方では、全く痛みがないということもあります。1週間分の痛み止めを処方しますので帰宅後からきちんと飲んでください。痛くなってからの服用では効果が出るまでに時間がかかるので、くれぐれも忘れないようにしてください。